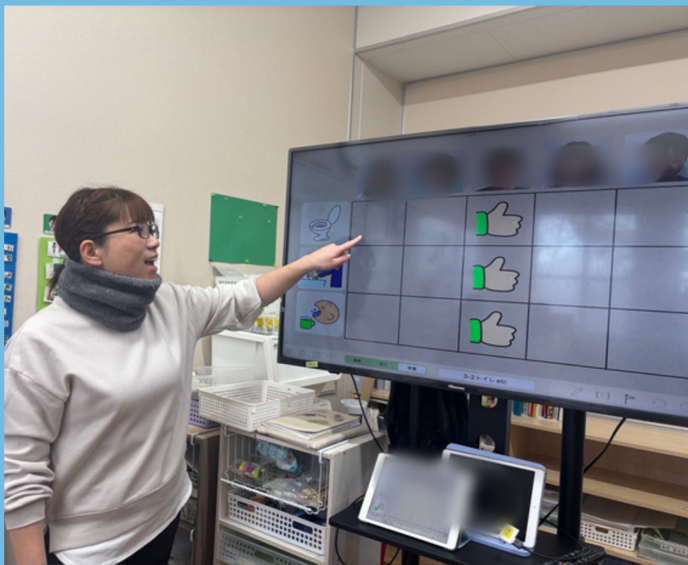


2024苫小牧支援学校校内研究 ICTを活用した授業づくりの実践を通して



ICTを活用した
生きる力を育む
授業実践を目指して
(2年次)

本校校内研究に関し、今号では、1人1台端末を活用した学習活動の充実に向けて、はじめてタブレット端末を使う低学年を対象にICTの活用に焦点を当てた紹介をいたします。ICT機器の使い方や基礎、気を付けることなどを、各学年で丁寧に指導した上で各教科の授業で様々なアプリを使いながら学習を進めています。



①育みたい「生きる力」・学習場面



「注目する力」
「意思表示する力」

音楽

小学部1年生



②そのためのICT活用



歌唱の場面では、声の大きさを視覚化するためのアプリを活用したり、自分の口の形を客観的に見るために見本の画像と比べたりしながら取り組むようにしています。また、器楽演奏では、鳴らすタイミングを画面上に表示するなど、自立的に取り組むための手立てとしてICTを活用しながら学習を進めています。

小学部2年生



①育みたい「生きる力」・学習場面



気持ちの表出

図画工作

②そのためのICT活用



一つ目は、keynoteを使って、頑張ったことを発表する文章を穴埋め形式で選択しながら作成し、発表します。

二つ目は、droptapを使って、頑張ったことを選び、発表します。

編集することで、視覚的にも他者の気持ちを共有したり、選択の理由を考えたりする学習に取り組んでいます。

①育みたい「生きる力」・学習場面



伝える力

生活単元学習

②そのためのICT活用



個人目標の設定場面や、他学年への礼状作りで、Pagesの編集機能を使いながら学習を進めています。

頑張ることのイラストを指定のフォルダから取り出したり、ズーム機能を使ってイラストを適切な大きさにするなど、タブレット端末の基本的な動作を身に付けながら、自分の気持ちを伝えられるよう、授業に取り組んでいます。



次号研究日よりVOL.4は小学部4～6年生の実践紹介になります。

次回研究日は、12月20日（金）公開授業研究会になります。研究授業の振り返りや外部の先生方との意見交流をお願いします。

